

日 本 語

TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM

東京都美術館

「日本語」



ご案内／展覧会

2025.1 ~ 2025.12



東京都美術館
TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM



東京都美術館の使命

東京都美術館は、展覧会を鑑賞する、子供たちが訪れる、
芸術家の卵が初めて出品する、障害のある方が何のためらいもなく来館できる——、
すべての人に開かれた「アートへの入口」となることを目指します。

新しい価値観に触れ、自己を見つめ、世界との絆が深まる「創造と共生の場＝アート・コミュニティ」を築き、
「生きる糧としてのアート」と出会う場とします。

そして、人びとの「心のゆたかさの拠り所」となることを目指して活動していきます。

東京都美術館の歩み



1926(大正15)年 ▶ 東京府美術館の創設

実業家・佐藤慶太郎から、当時の金額で100万円(現在の40億円相当)の寄付を受け、日本初の公立美術館として、1926年5月1日に開館。美術団体等による新作発表のほか、美術作家の回顧展や国内外の名品を紹介する展覧会を開催し、「美術の殿堂」として広く美術の魅力を伝える役割を担いました。

※1943(昭和18)年の都制施行に伴い、「東京都美術館」に名称変更

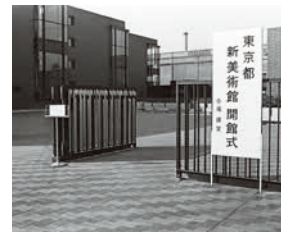
佐藤慶太郎(さとう・けいたろう)

1868(明治元)年 - 1940(昭和15)年。北九州市生まれ。「石炭の神様」と称された実業家。アメリカの鉄鋼王アンドリュース・カーネギーの慈善活動に共感し、東京府美術館の建設のほか、奨学金の創設や病院への寄付、国民生活改善運動の研究など、公共のために私財を投じた。



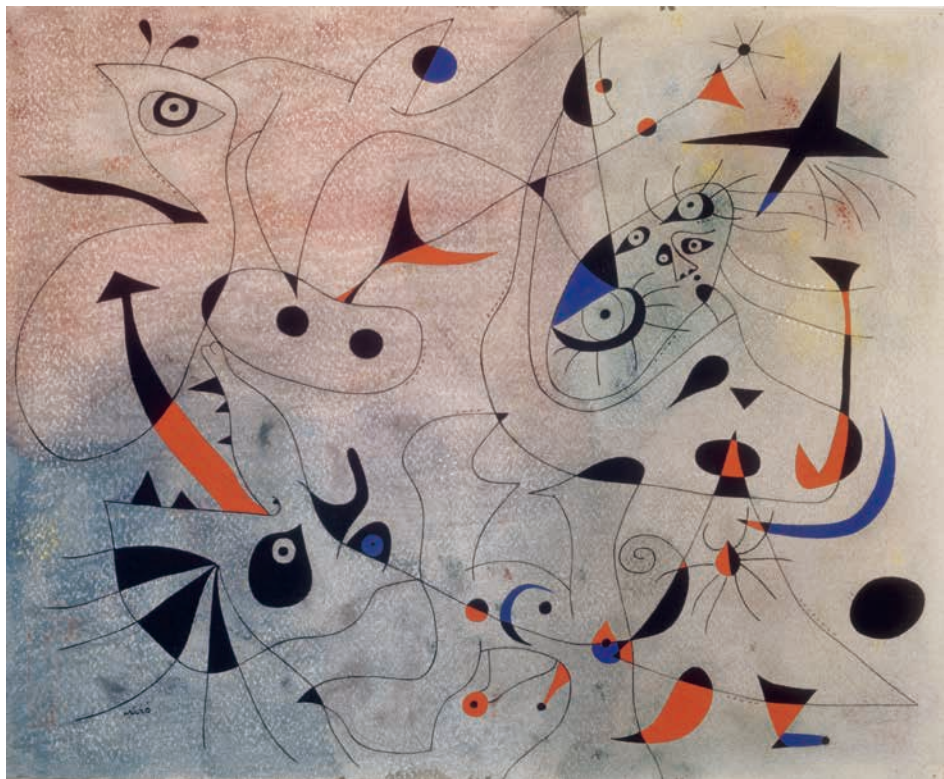
1975(昭和50)年 ▶ 新館の開館

旧美術館が手狭となり老朽化したため、前川國男の設計による新しい美術館を建設。生まれ変わった「東京都美術館」は、学芸員による企画展や作品収集にも力を注ぎ、本格的な美術館として活動を開始。今日のワークショップの源流となる教育普及活動をはじめ、一般に開放される美術図書室など、公立美術館の運営のさきがけとして活動しました。1995(平成7)年、東京都現代美術館の開館にともない、約3千点の収蔵作品と約5万冊の美術図書資料を移管しました。



2012(平成24)年 ▶ リニューアルオープン

多くの人々に親しまれた前川建築を受け継ぎつつ、ユニバーサルデザインを採り入れ、レストランやショップなども充実させる大規模な改修工事を実施。新たな企画展やアート・コミュニケーション事業を開始するなど、美術館としての魅力をより一層向上させる方針のもと、2012年4月1日に「新生・東京都美術館」として再出発しました。



ジュアン・ミロ《明けの明星》1940年 ジュアン・ミロ財団、バルセロナ

Fundació Joan Miró, Barcelona. Gift of Pilar Juncosa de Miró.
© Successió Miró / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2025 E5746

ミロ展

Joan Miró

2025年3月1日(土)～7月6日(日)



ダンヒル&オブライエン「Terms & Conditions」展の記録 2019年

写真: Glen Stoker

つくるよろこび 生きるためのDIY

Pleasure in Making: The Creative Spirit of DIY for Living

2025年7月24日(木)～10月8日(水)

ミロ展

Joan Miró

2025年3月1日(土)～7月6日(日)

20世紀美術を代表する、スペイン出身の巨匠ジュアン・ミロ(1893～1983)。その画業の全体を、初期から晩年までの代表作によってご紹介します。幅広い層を魅了するミロ作品の真髄を体感できる大回顧展です。

(右) ジュアン・ミロ《オランダの室内I》1928年 ニューヨーク近代美術館 Mrs. Simon Guggenheim Fund. Acc. no.: 163.1945
Digital image, The Museum of Modern Art, New York/Scala, Florence
© Successió Miró / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2025 E5746
(下) ジュアン・ミロ《太陽の前の人物》1968年 ジュアン・ミロ財団、バルセロナ Fundació Joan Miró, Barcelona.
© Successió Miró / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2025 E5746



都美セレクション グループ展 2025

Group Show of Contemporary Artists 2025

ギャラリーA「^ケ褻に触れていく」ケカラハ

ギャラリーB「感性が自然に擬態する」ビッグ・ネイチャー・ペインティングス

ギャラリーC「パブリック・ファミリー」パブリック・ファミリー展実行委員会

2025年6月10日(火)～7月2日(水)

新しい発想によるアートの作り手の支援を目的とした、企画公募による展覧会です。東京都美術館という場所の意味や、会場の空間の特性を活かした展覧会企画を公募し、審査を経て選抜された3グループによる展覧会を開催します。

安田萌音(ビッグ・ネイチャー・ペインティングス)《Wanderers》2024年
撮影:マエシロアヤノ



つくるよろこび 生きるためのDIY

Pleasure in Making: The Creative Spirit of DIY for Living

2025年7月24日(木)～10月8日(水)

アートとライフの垣根を越え、人々の「よりよく生きる」ことへの思いが導くDIYやつくることの可能性について、7組のアーティストと建築家の視点を通じて考えます。



久村卓《One Point Structure 1》2021年 作家蔵

出品作家(五十音順):伊藤聡宏設計考作所、スタジオメガネ建築設計事務所、瀬尾夏美、ダンヒル&オブライエン、野口健吾、久村卓、若木くるみ

ゴッホ展

家族がつないだ画家の夢

Van Gogh's Home: the Van Gogh Museum. The Painter's Legacy, the Family Collection, the Ongoing Story

2025年9月12日(金)～12月21日(日)

フィンセント・ファン・ゴッホ(1853-1890)の没後、その作品の多くは弟テオ、その妻ヨー、夫妻の息子フィンセント・ウィレムら家族によって、今日に受け継がれてきました。本展では、そのファミリー・コレクションを紹介します。



(上)フィンセント・ファン・ゴッホ《画家としての自画像》

1887年12月-1888年2月

ファン・ゴッホ美術館、アムステルダム(フィンセント・ファン・ゴッホ財団)
Van Gogh Museum, Amsterdam (Vincent van Gogh Foundation)

(下)フィンセント・ファン・ゴッホ《種まく人》

1888年11月

ファン・ゴッホ美術館、アムステルダム(フィンセント・ファン・ゴッホ財団)
Van Gogh Museum, Amsterdam (Vincent van Gogh Foundation)

公募団体展・学校教育展

開館以来、美術や書などの公募団体に、作品発表の場を提供しており、現在は年間約260団体が「つくる喜びを共有する場」としてさまざまなジャンルの展覧会を行っています。また、美術系の高校や大学の卒業制作展や、児童生徒の作品展も数多く開かれています。

収蔵品の紹介

東京都美術館では、野外彫刻等の立体作品13点と書作品36点を収蔵しています。



青山杉雨《車馬騒々》



建畠覚造《さ傘(天の点滴をこの盃に)》1973年



最上壽之《イロハニホヘトチリヌルヲワカヨタレソツネ……ン》1979年



井上武吉《my sky hole 85-2 光と影》1985年

カレンダー

- 全館休館日 → 第1、第3月曜日(祝日・振替休日の場合は翌日)、整備休館、年末年始
- 特別展・企画展休室日 → 月曜日(祝日・振替休日の場合は翌日)
- 夜間開館日 → 9:30-20:00(入館は閉館30分前まで)

2025	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
1 JAN	ノスタルジア—記憶のなかの景色																														
	懐かしさの系譜—大正から現代まで																														

2025	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28		
2 FEB																														

2025	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
3 MAR	ミロ展 2025年3月1日(土)～2025年7月6日(日)																														

2025	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
4 APR	ミロ展 2025年3月1日(土)～2025年7月6日(日)																														

2025	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
5 MAY	ミロ展 2025年3月1日(土)～2025年7月6日(日)																														

2025	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
6 JUN	ミロ展 2025年3月1日(土)～2025年7月6日(日)																														
	都美セクション グループ展 2025 2025年6月10日(火)～2025年7月2日(水)																														

2025	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
7 JUL	ミロ展																														
				</																											

※最新の情報は、東京都美術館ウェブサイトをご覧ください。

アート・コミュニケーション事業

アートを媒介として、人々のつながりをはぐくむ活動をしています。

美術館が作品を鑑賞する場にとどまらず、鑑賞を「体験」として、より深める場所になるように、さまざまなプログラムを実施しています。



東京都美術館 × 東京藝術大学
とびらプロジェクト



東京都美術館と東京藝術大学、一般公募のアート・コミュニケーター(とびラー)が協働して行っている「ソーシャル・デザイン・プロジェクト」です。美術館を拠点に人と作品、人と人、人と場所をつなぎ、さまざまな価値観を持つ多様な人々を結びつけるコミュニティのデザインに取り組んでいます。



©Yusuke Nakajima

国立科学博物館 ©Ryo Fujishima

上野公園に集まる9つの文化施設が連携し、こどもたちの“ミュージアム・デビュー”を応援。こどもと大人がフラットに学びあえる環境を創造する「ラーニング・デザイン・プロジェクト」です。年間を通じて、小・中・高校生がミュージアムを活用することを目的としたプログラムを行っています。



東京都美術館は、こどもから高齢の方まで、歳を重ねてからも「ずっと」通いたくなる美術館でありたいと考え、超高齢社会に対応する事業を始めました。歳を重ねる中で、作品と人がクリエイティブに出会える参加型のプログラムなどを作っていきます。

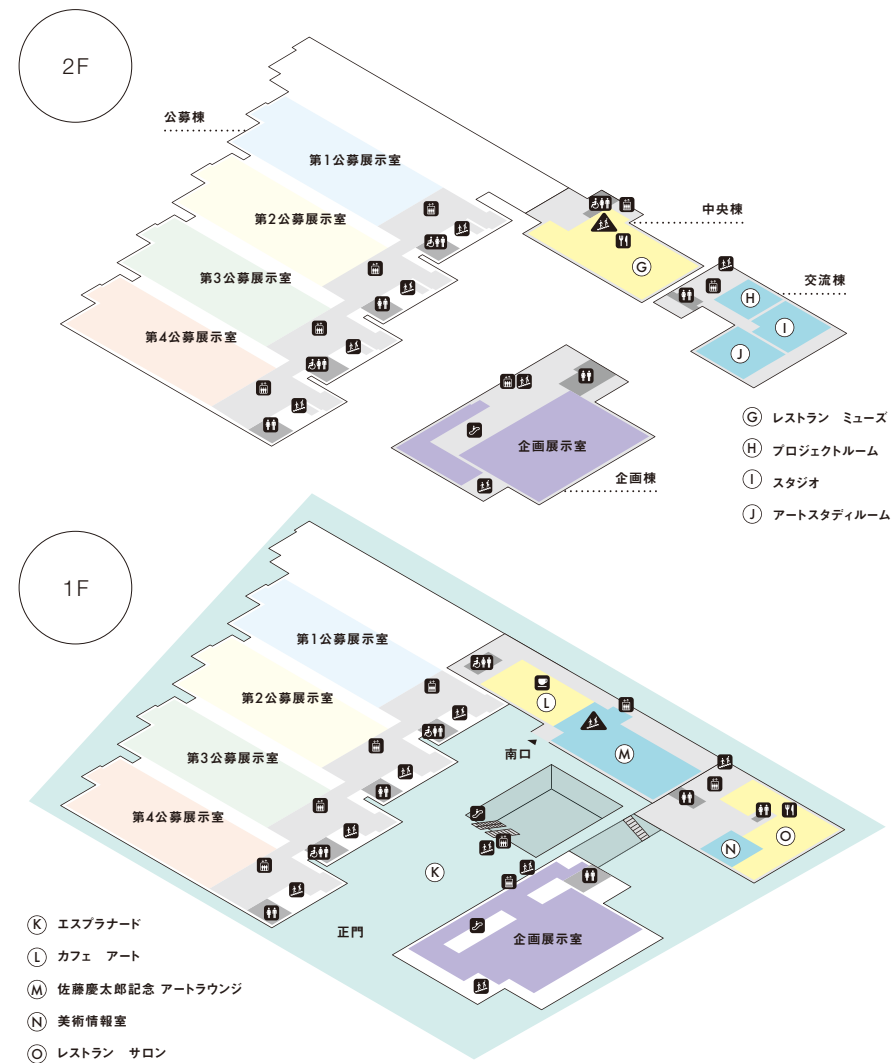
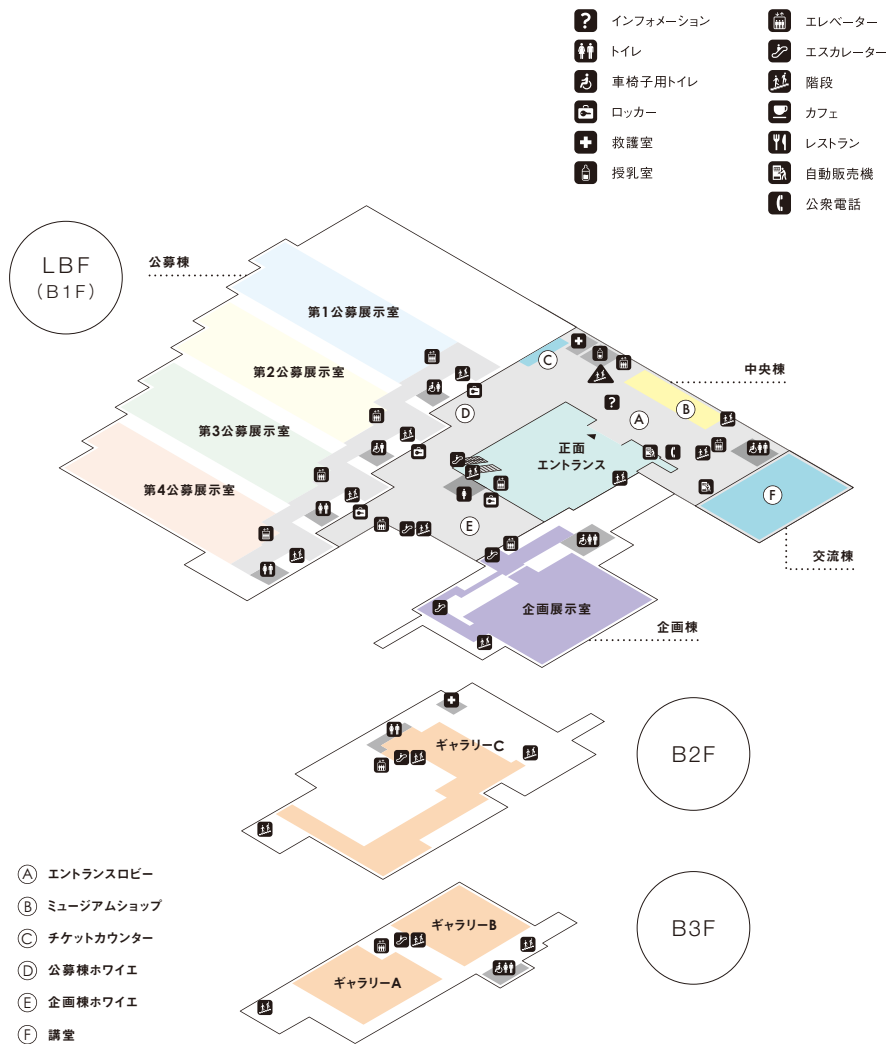


2012年に始まったアート・コミュニケーション事業の歩みや実践を、体験を通じて紹介し、事業についてより多くの方々に知っていただく機会として、毎年夏に「アート・コミュニケーション事業を体験する」を開催しています。当館のロビー階第3公募展示室を会場に、作品を介したコミュニケーションや参加型プログラムが楽しめる展覧会です。会場にはアート・コミュニケーター(とびラー)及び任期満了したとびラーが常時滞在します。



© Nacása & Partners Inc. FUTA Morishi

館内のご案内



館内施設のご案内

アメニティ事業

ミュージアムショップ

オリジナルグッズから伝統工芸品まで、日々を豊かに彩るアイテムを取り揃えています。

面積：127㎡／Tel. 03-5685-9110



中央棟LBF(B1F)

RESTAURANT salon (レストラン サロン)

本格フレンチダイニングをご提供。席の予約ができ、個室のご用意もあります。

面積：249㎡／席数：50席／Tel. 03-5832-5101



交流棟1F

RESTAURANT MUSE (レストラン ミュース)

洋食を中心に和食、キッズメニューも。お気軽にご利用いただけるカジュアルレストラン。

面積：481㎡／席数：200席／Tel. 03-5832-5551



中央棟2F

cafe Art (カフェ アート)

コーヒーやスイーツ、軽食をご用意。アートの合間にほっとひと息。

面積：103㎡／席数：50席／Tel. 03-5832-5566



中央棟1F

佐藤慶太郎記念 アートラウンジ

北欧デザインの椅子に座ってゆっくり休憩できるラウンジです。

面積：391㎡／席数：46席



中央棟1F

美術情報室

美術図書・図録・雑誌などをゆっくり閲覧できるライブラリー。

面積：88㎡／席数：14席／蔵書冊数：約6万点



交流棟1F

貸出施設

講堂

講演会やシンポジウム、授賞式などが行えます。

面積：284㎡、舞台30㎡／定員：230名
(固定椅子225席+車椅子用スペース5席)

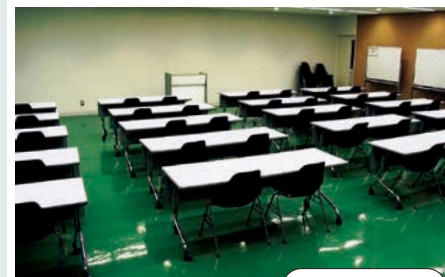


交流棟LBF(B1F)

スタジオ

会議や制作などを行う多目的室です。

面積：146㎡／定員：50名



交流棟2F

アクセシビリティ

車いすをご利用の方へ

館内でご利用いただける車いすの貸出をしています。車いす対応トイレも各フロアにあります。

車いす：28台(自走介助兼用)／無料



インフォメーションにて貸出

だれでもトイレ

大人が横たわれるサイズの介助用ベッドやオストメイト対応を備えた多機能トイレがあります。



インフォメーションにてご案内

小さなお子さま連れの方へ

個室スペースのある授乳室をはじめ、ベビーカー貸出やミルク用お湯のサービスもあります。

ベビーカー：5台(対象月齢1〜48か月)／無料



インフォメーションにてご案内

コミュニケーション

インフォメーションでは、英語、中国語に対応しています。また、コミュニケーションボードのご用意のほか、土日は手話でご案内をしています。



インフォメーションにてご案内

ご利用案内

【開館時間】 9:30〜17:30

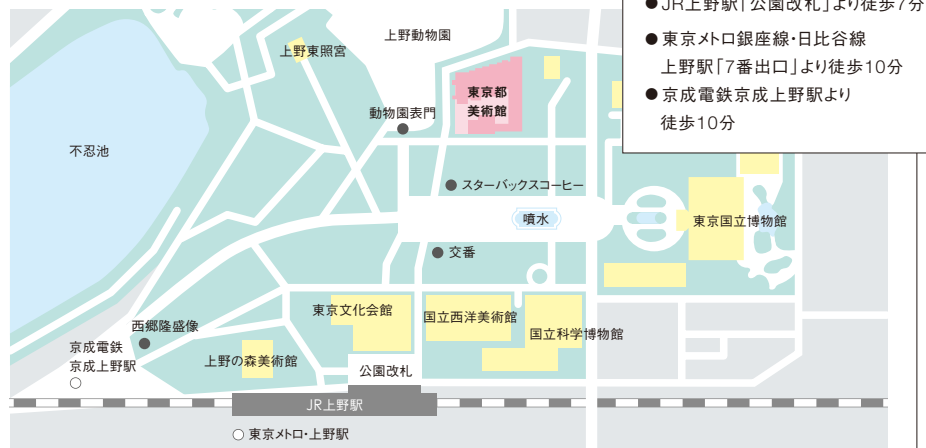
※特別展開催中の金曜日は9:30〜20:00 ※いずれも入館は閉館時間の30分前まで

【休室日】 特別展・企画展：月曜日(祝日・振替休日の場合は翌平日)

上記以外の展覧会：第1、第3月曜日(祝日・振替休日の場合は翌平日)

【全館休館日】 第1、第3月曜日(祝日・振替休日の場合は翌平日)／年末年始、整備休館

【入館料】 無料。観覧料は展覧会ごとに異なります



- JR上野駅「公園改札」より徒歩7分
- 東京メトロ銀座線・日比谷線
上野駅「7番出口」より徒歩10分
- 京成電鉄京成上野駅より
徒歩10分

※駐車場はございませんので、車での来館はご注意ください。

施設概要

○敷地面積：16,638.84㎡ ●建築面積：7,999.47㎡ ●延床面積：37,748.81㎡

【企画展示室】 ●LBF(B1F)：709㎡ ●1F：713㎡ ●2F：714㎡ ※天井高4.5m

【公募展示室】 ●LBF(B1F) 第1・第2・第3・第4：3,040㎡ ●1F 第1・第2・第3・第4：3,040㎡ ●2F 第1・第2・第3・第4：3,040㎡ ※全12室、天井高4.8m

【ギャラリー】 ●A(B3F)：412㎡、天井高9.9m ●B(B3F)：303㎡、天井高3m ●C(B2F)：470㎡、天井高2.4m／5.8m



〒110-0007 東京都台東区上野公園8-36

Tel. 03-3823-6921 / Fax. 03-3823-6920

【ウェブサイト】 <https://www.tobikan.jp>

【X(旧Twitter)】 [tobikan_jp / tobikan_en](https://twitter.com/tobikan_jp)

【Facebook】 [TokyoMetropolitanArtMuseum](https://www.facebook.com/TokyoMetropolitanArtMuseum)

発行日 2025年1月31日

発行 東京都美術館
(公益財団法人東京都歴史文化財団)

デザイン opportune design Inc.

印刷 株式会社オノウエ印刷

© Tokyo Metropolitan Art Museum

最新情報は、当館ウェブサイトでご確認ください。



館発行の広報誌「東京都美術館ニュース」も是非ご覧ください。



日本語

東京都美術館

TOKYO
METROPOLITAN
ART
MUSEUM

ご案内／展覧会

2025.1～2025.12

フィンセント・ファン・ゴッホ〈麦の穂〉 1890年6月 ファン・ゴッホ美術館、アムステルダム(フィンセント・ファン・ゴッホ財団)
Van Gogh Museum, Amsterdam (Vincent van Gogh Foundation)